

5月8日、「志布志市松山地域の学校の在り方検討委員会」は、これまでの検討内容の最終取りまとめについて市長に報告しました。

この検討委員会は、松山地域の学校の在り方を検討するため、令和6年9月に市教育委員会が設置しました。松山地域のコミュニティ協議会会長、小中学校長、児童生徒の保護者、学校運営協議会委員、こども園などの園長、園児の保護者、学識経験者などの委員29人で構成されています。

検討委員会では、「将来の担い手となる子どもたちにとって、より良い学びの場となるよう検討を進める。検討にあたっては、当事者である保護者の意見を大切にすること」を基本として、松山地域の今後の児童生徒の推移を踏まえ、保育園児、小学生、中学生の保護者を対象に学校の在り方に関するアンケートを実施しました。

保護者の意見を集約した上で、協議検討を重ね、今回、今後の方向性として、松山地域の小学校3校と中学校を統合し、統合の形態を小中一貫校（義



務教育学校）、統合後の学校の位置を松山中学校、統合の時期を令和11年4月とすることを盛り込んだ最終取りまとめを行いました。

この報告を受け、市は教育委員会と共に協議・検討して、今後の方針を決定することとしています。

松山地域の学校の在り方検討委員会が最終取りまとめを市長に報告しました

TOPIC



5/7 伝統技術の維持へ助成金贈呈

明治安田クオリティオブライフ文化財団（関口憲一理事長）が、地域伝統文化保持を目的に伊崎田和紙保存会（國重賢一郎代表）に助成金を贈呈しました。民俗技術部門としては、県内唯一の選定です。



5/15 曾於地区春季畜産共進会で入賞

本市から20戸28頭の肉用牛が出品され、父系群区で徳重義種畜場所有のななみ2の52、あさみ、さくらゆき号の3頭が最優秀賞2席。若雌2区で児玉栄一さん所有のなつみ号が最優秀賞3席に入賞しました。



5/27 鹿児島交響楽団 学校コンサート

伊崎田学園にて、鹿児島交響楽団によるコンサートが開催されました。コバルト技建（中島順一代表取締役社長）による地域貢献事業で、今年で2校目。指揮体験や全体合唱で共演し、音楽に親しみました。



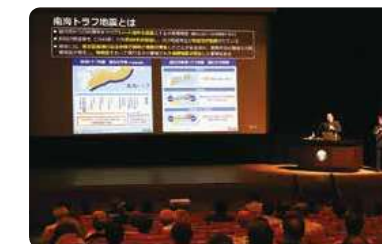
5/1 「大きくなってね！」稚鮎放流

前川清流公園にて、たちばなこども園の園児が稚鮎の放流を体験しました。園児らは元気いっぱいの鮎に終始大興奮でした。この取組は水産資源の保護や水辺に親しむ機会の創出を目的に毎年行われています。



5/8 「いかのおすし」防犯文房具を寄贈

志布志地区金融機関防犯協議会（湯浅智仁会長）、志布志地区防犯協会（下平晴行会長）から防犯啓発文房具（クリアファイル、色鉛筆）を寄贈頂きました。頂いた物品は、市内の新小学1年生に配られます。



5/17 南海トラフ地震への備えを考える

鹿児島県民防災講演会が市文化会館で開催されました。約200人の参加者は、鹿児島地方気象台、鹿児島大学、市の担当者による講演を聞き、迫りくる南海トラフ地震への備えを再確認していました。

―自治会長のお仕事って？―

毎月2回、回覧板配布があるので、班ごとに書類を仕分けて届けます。他にも、清掃活動や花植え、グラウンドゴルフ大会など各種行事の連絡調整や準備作業を行います。



▲配布数に誤りがないよう慎重に確認

―なぜ自治会長に？―

家業である写真館の手伝いをしていて、地域の方々と接する機会が多くあります。地域の方々の勧めもあり、4月から六月坂自治会長（世帯数75世帯）をさせて頂いたことになりました。現在、前会長から引継ぎを受けている最中です。

―自治会長としての抱負―

市外では、高校生自治会長の誕生なども報道がありましたが、「若者目線」を取り入れたいと思っています。自治会連絡のデジタル化（SNSの活用）やコロナ禍で途絶えた花見を復活させたいです。

自治会長は、年配の方だけが務めるものではないです。同世代の皆さん！若い力で、自治会、地域活動と一緒に盛り上げていきましょう！

「22歳の自治会長が誕生したよ。」

このような一報が舞い込んできました。22歳の自治会長こと、六月坂自治会の宮ヶ原大喜自治会長に連絡を取り、取材を行いました。



回覧板を配布する宮ヶ原さん